

## 地域医療研修を終えて

豊橋市民病院

私がこの研修を通じて感じたことは、地域医療はジェネラリストを必要としていることと、地域医療で在宅へと誘導していくのは病院の力だけでは不可能であるという点です。地域医療になぜジェネラリストが必要かについては、単純に政策による影響で大学へ医師が戻された結果の医師不足を補わなければいけないという側面で説明はできます。しかし、別の見方をすれば、ジェネラリストだからこそ全人的に診断・治療を行うことができ、患者さんとのラポールを形成することができるために、看取りまでの治療を考えられるのではないかと感じました。そうすることで地域医療としての総合病院の機能を担いつつ、開業医の先生のように患者さんの生活に近づくことができているために地域にはジェネラリストが必要なのだと感じました。

次に地域医療は病院だけでは成り立たないという点に関してですが、“終活”という言葉がマスコミで報道されるようになって、死生観をしっかりと持つ方も増えてきているとは思いますが、どこまで医療を受けたいのか、最後をどのように過ごしたいのかを患者さん本人が決めたとしても、それを実行するために在宅の希望があったとしても、その選択肢を選ぶために家人にすべてのケアを任せられる時代ではなくなっているためアウトソーシングする必要が出てくる。そのため受注する機関がなければ本人の意思と関係なく施設入所が余儀なくされることとなる。そのため訪問看護・訪問リハビリなどが必要不可欠であるということを感じました。

また、救急外来での診察を中心に外来を考えてきたために救急外来では診断する必要のない症候に対する診断・治療を考えさせていただいたこと、救急外来では聞くことがなくなっていた、詳細な病歴の大切さを再確認させていただいたことも大変勉強になりました。

毎朝勉強会を開いて日夜 EBM を実践されているのを見学させていただき、感銘を受けました。

老々介護や認々介護といった問題はすでに顕在化しており、そういった問題は今後深刻化し都市部でもより一層の対応に迫られ、マスコミも報道されるようになると思います。そういった問題に対して、訪問介護やデイケアでサポートするのは未だ不十分であり、家人のサポートは重要だと思います。このことに対して明確な答えは導き出せませんが、問題点があると認識できたことは今後参考にさせていただこうと思います。

以上地域医療としての総合病院の役割や、ジェネラルに診ることの必要性、ジェネラルに診るうえでの診察、訪問介護や訪問リハビリといった在宅でのケアと患者さんの人生の終わりを考えるとといったことに対して学ばせていただき、今後参考にさせていただきたいと思います。

お忙しい中大変貴重な時間を割き指導していただいたことに対して心から感謝申し上げます。